

小學讀本

竹下權次郎編纂

卷一

特34

979

館籍書會育教本日大			
	三		二
	四		
	六		
冊	二	二	六
	號	架	函

081648-001-6

特34-979

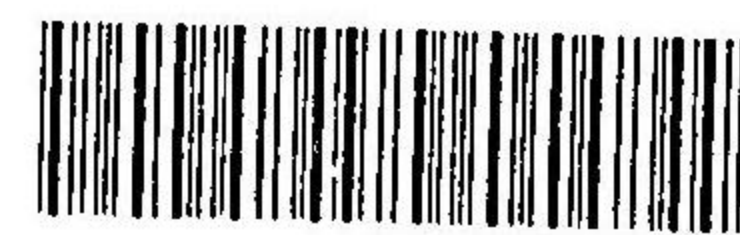
小学讀本

竹下 權次郎/編

卷1

M20

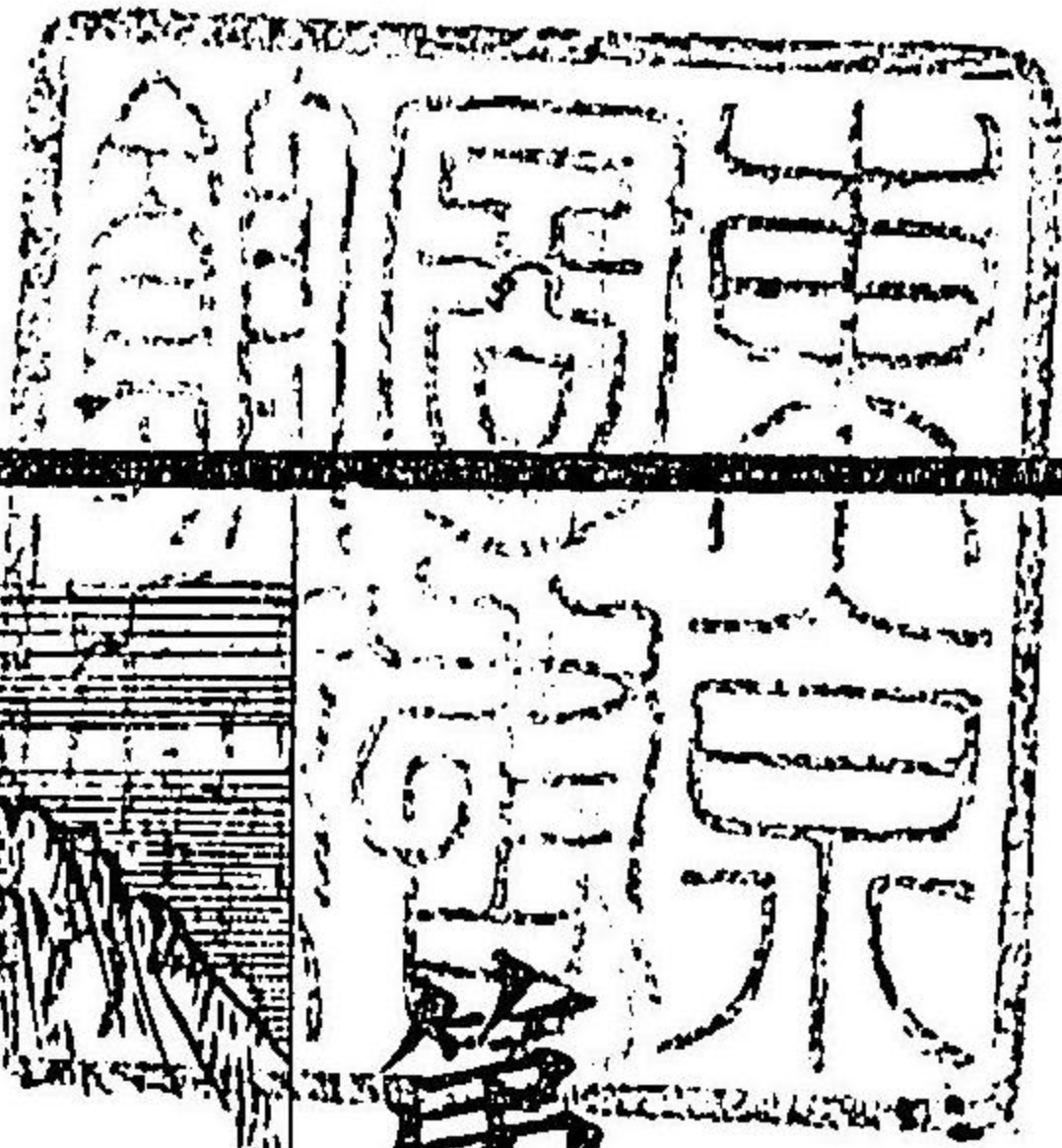
DAC-6450



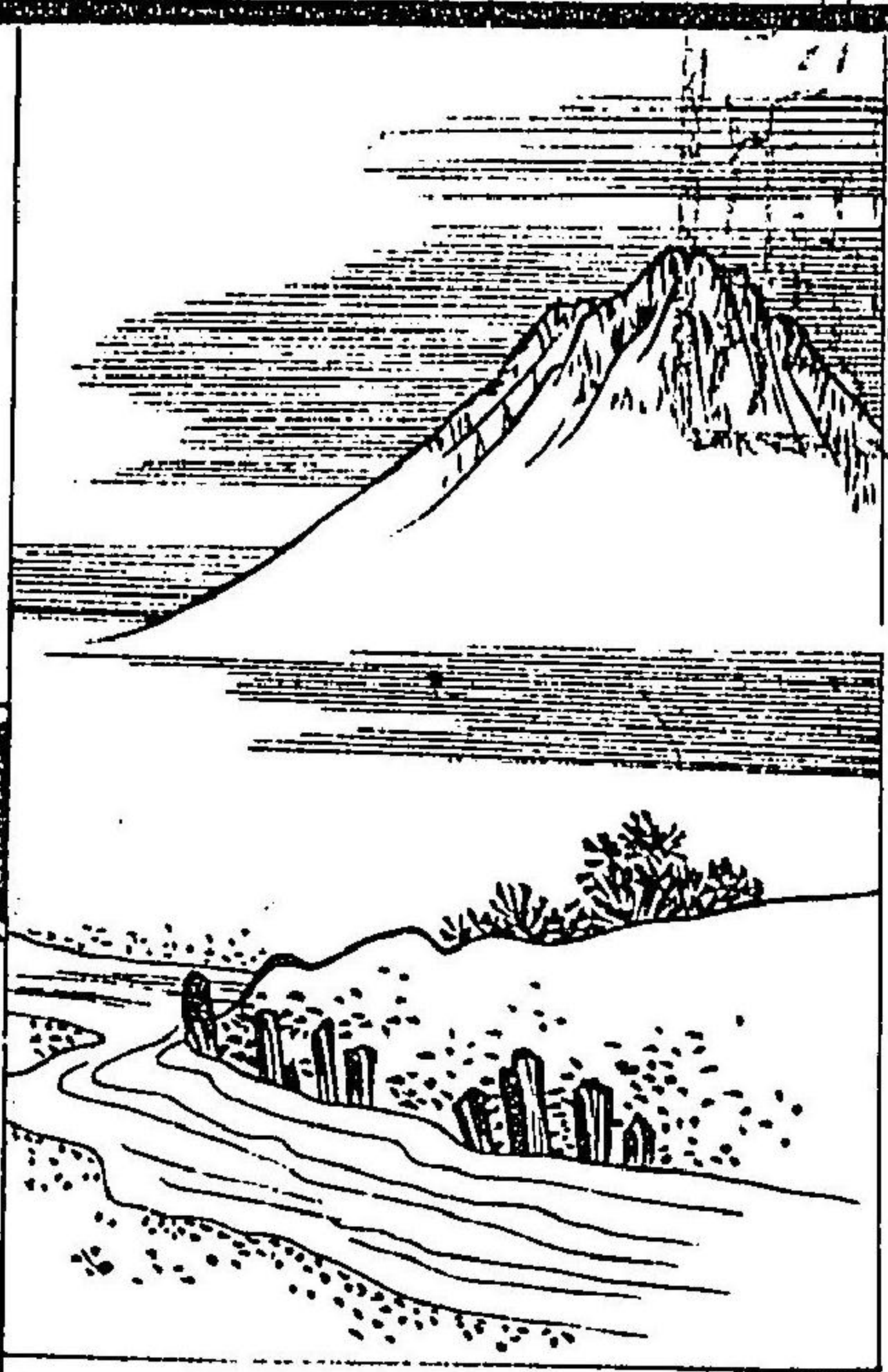
特34

979

No 6046



第一



小學讀本卷一

東京

竹下權次郎編纂



山川

たかき山

ふかき川

竹下權次郎編纂

小學讀本 卷一

東京

中近堂藏版



人 犬

可志こき

志えたる

土 水

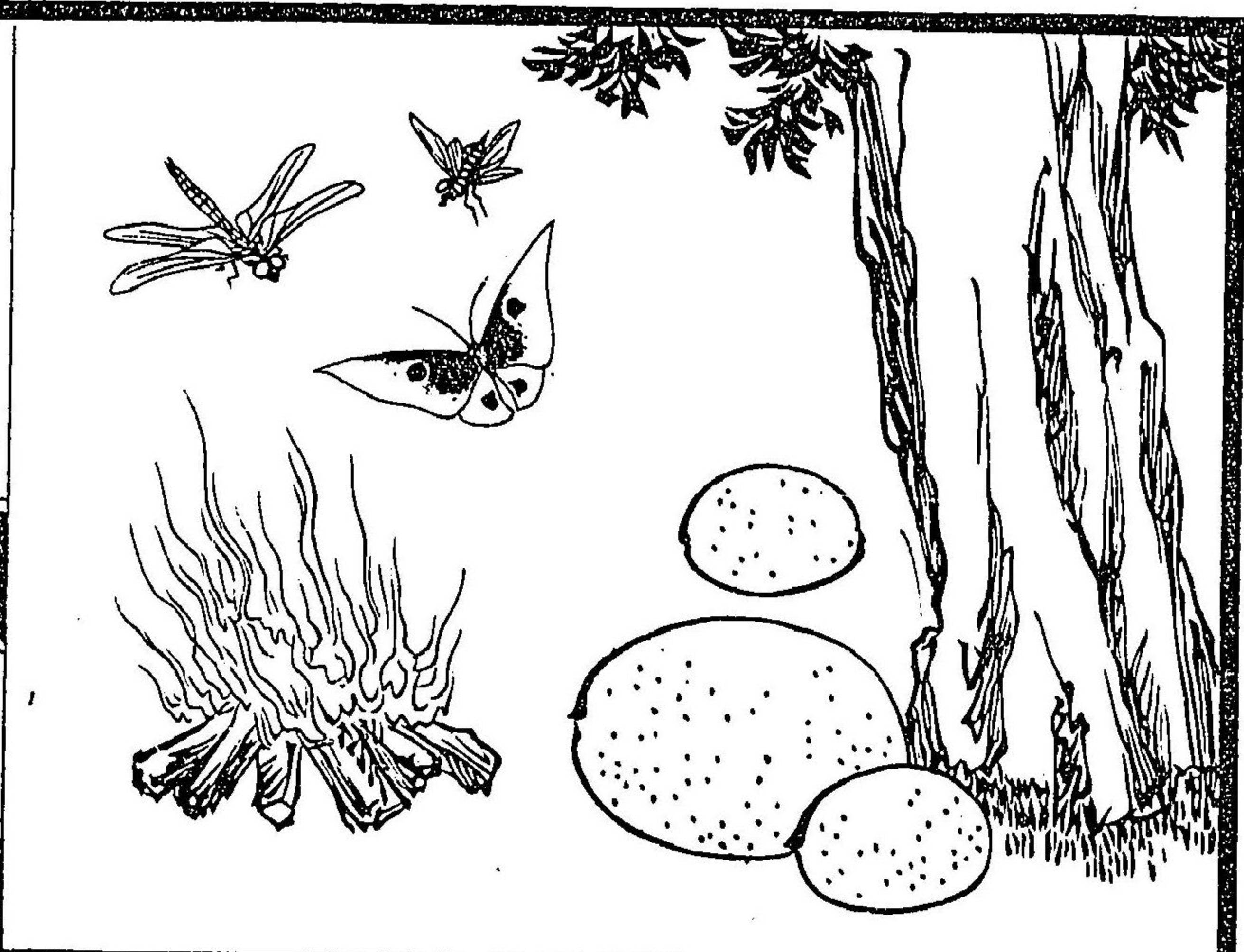
屋を覗かき

起き以ふる

犬 人

土

水



木 石

木 木

石 石

火 蟲

火が 有る

蟲が 少ぶ

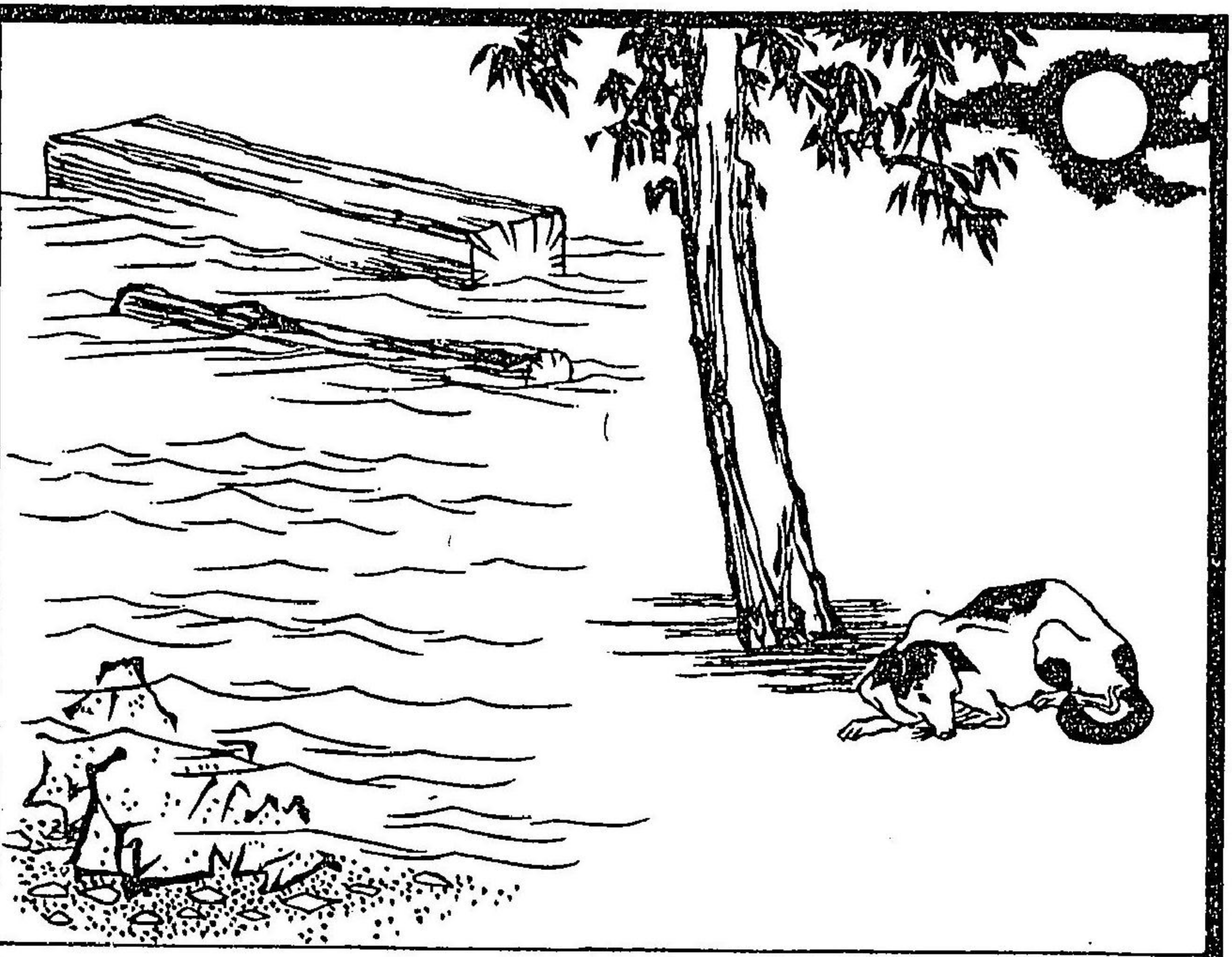
第二

日月光

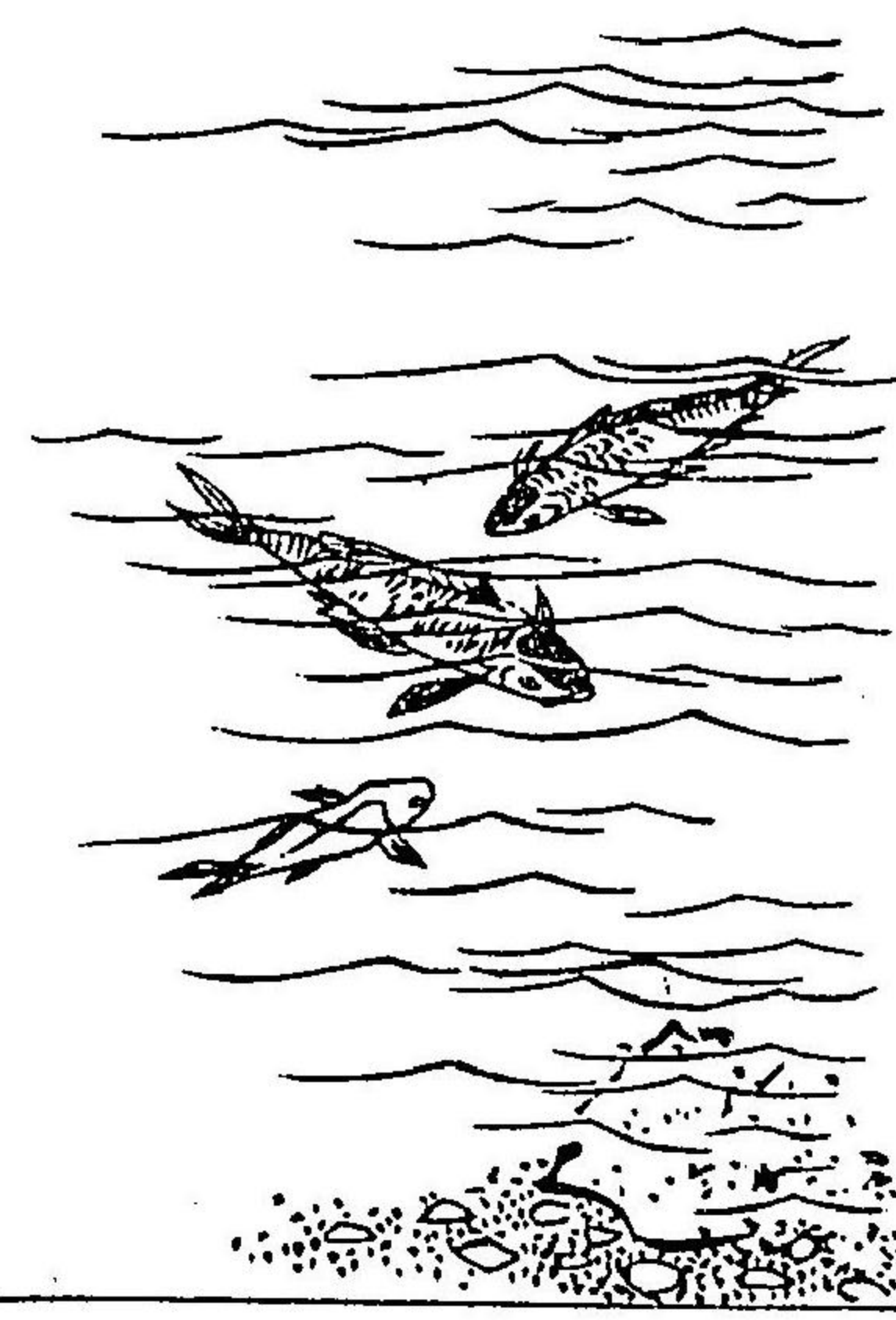
日の光いほよ月
の光いと
えし



見る 休む
人が月を見る



犬が木のかげ
小休む
上中下
木の水の上小
字かぶ
石の水の下よ



志はむ

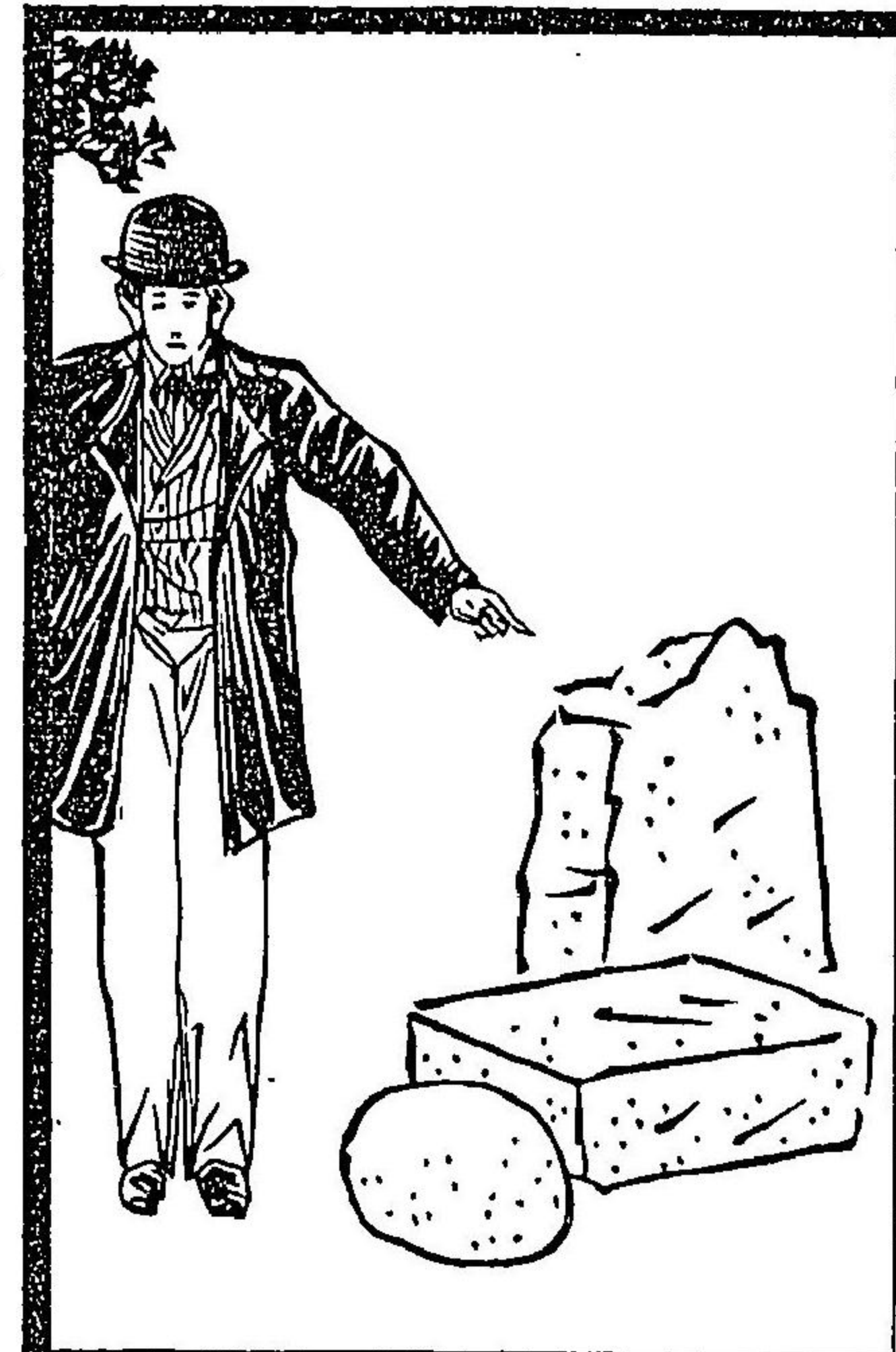
うをい水の中

ふすむ

右 左

人の右ふ木あ

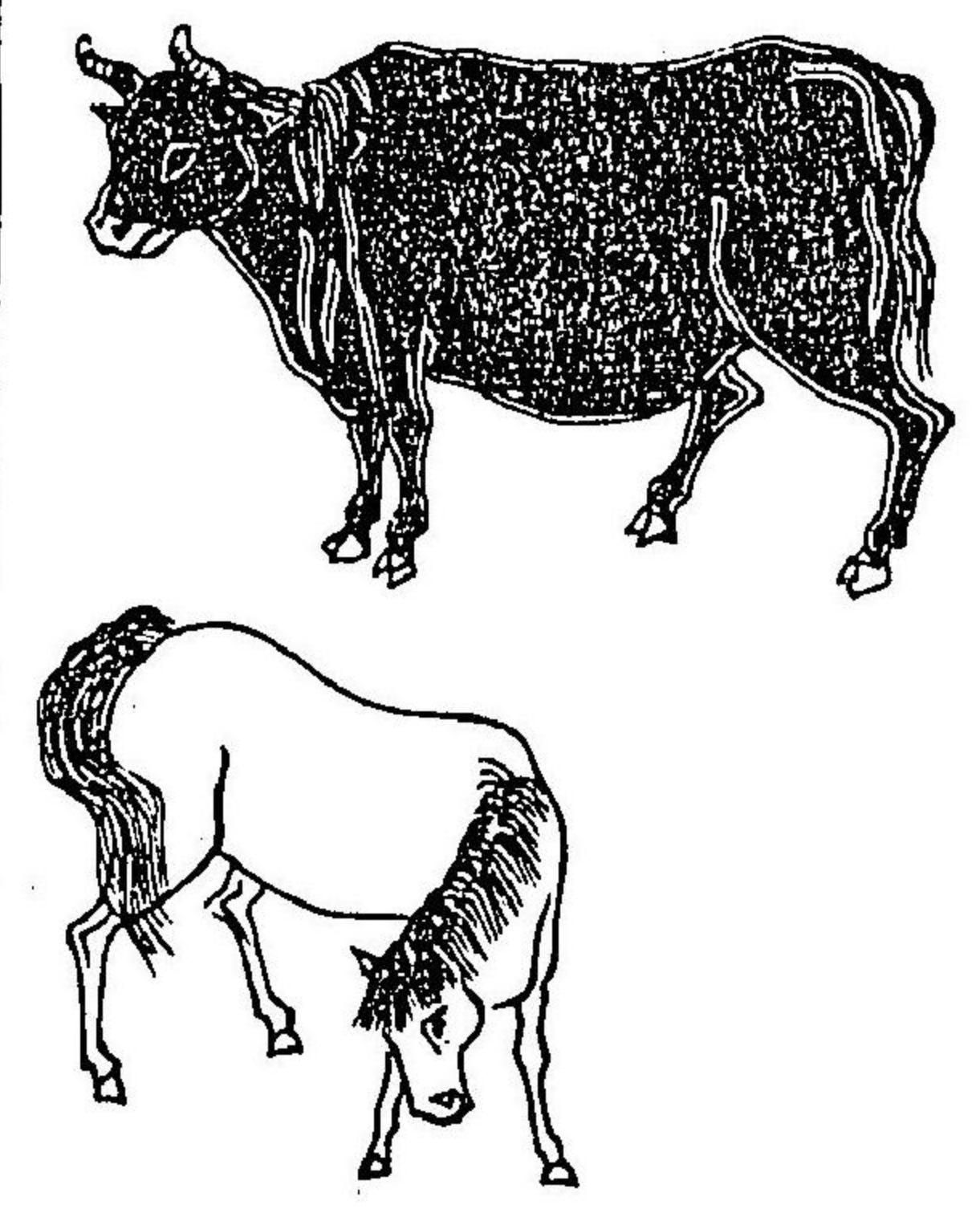
り



人の左ふ石あ

り

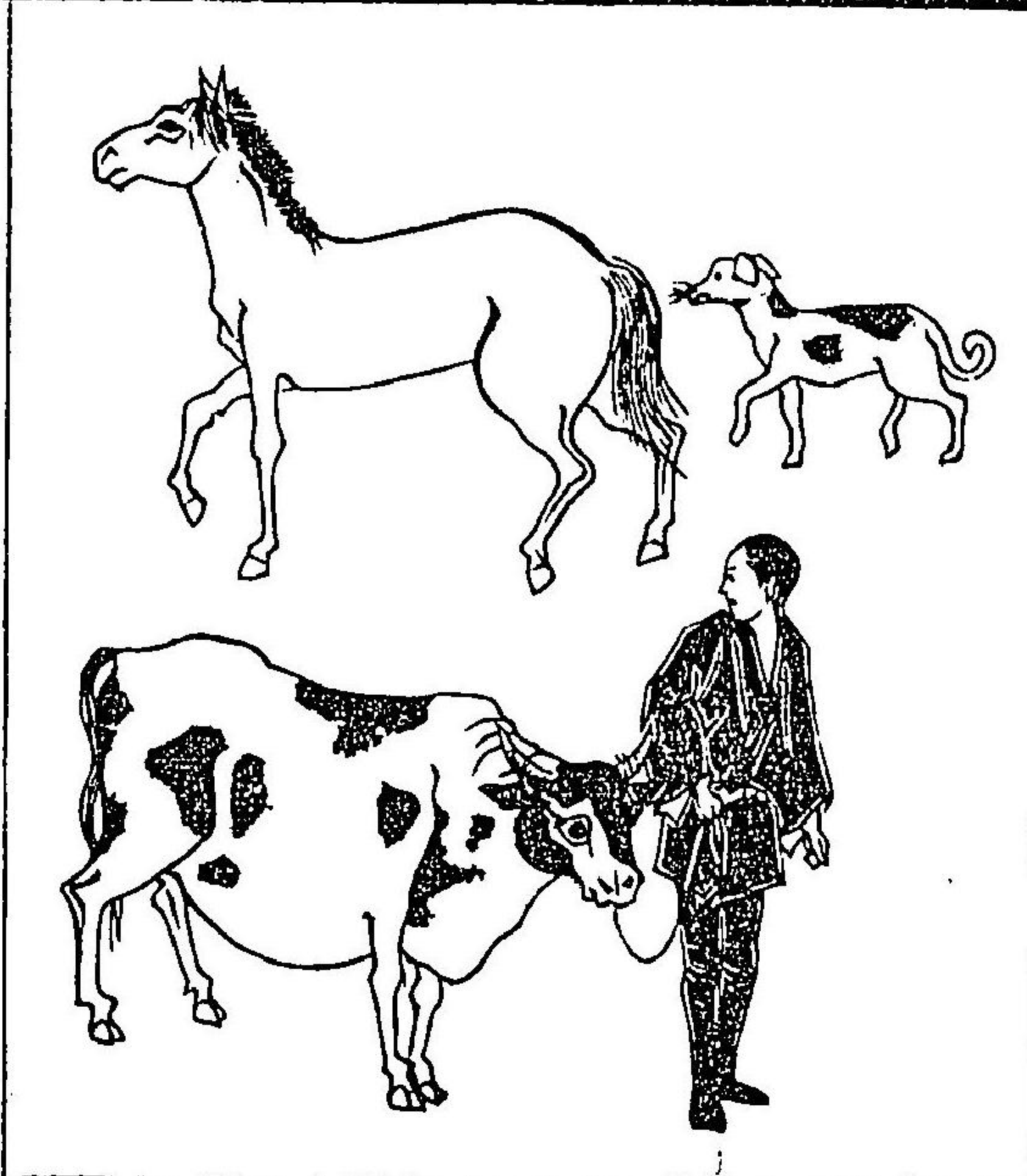
第三



大小 牛馬

大なる 牛

小なき 馬



行く 止まる

馬と犬が行く

人と牛が止ま

る

天 地 星 野

天小何まゐの星あり

地ふむろき野あり

朋友 交り 遊び

朋友の交りに志多くす

し

朋友と遊ぶふい何屋ふきと

とふとづからず

第四

年度時間

一月	二月	三月	四月
五月	六月	七月	八月
九月	十月	十一月	十二月

十二月と一年とす

一日	二日	三日	四日
五日	六日	七日	八日
九日	十日	十一日	十二日
十三日	十四日	十五日	十六日
十七日	十八日	十九日	二十日
廿一日	廿二日	廿三日	廿四日

廿五日 廿六日 廿七日 廿八日

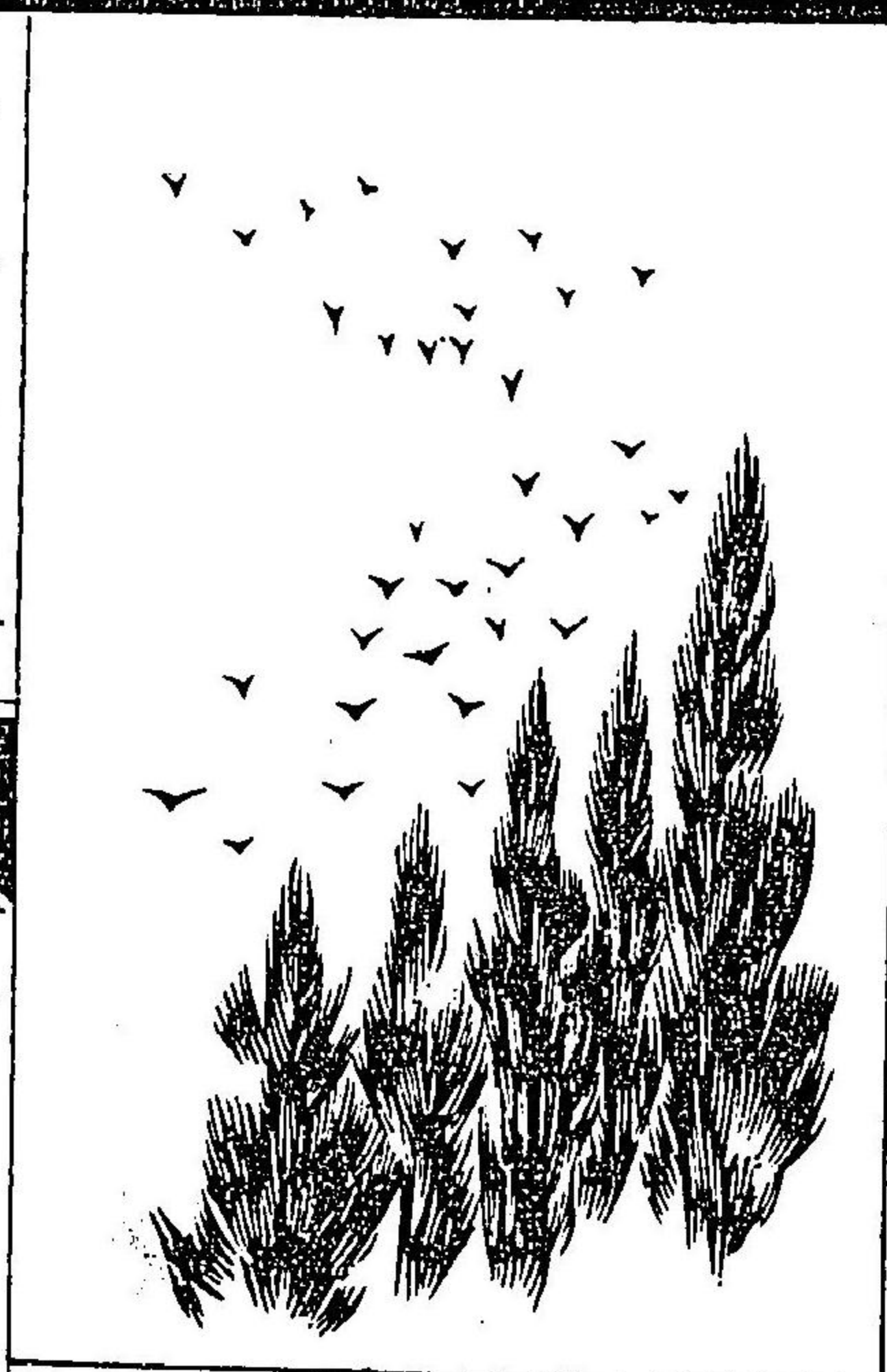
廿九日 三十日 三十一日

大の月ハ三十一日にして小
の月ハ三十日なり二月ハ二
十八日なきども四年めふ一
度閏ありて廿九日のことあ

り

一日ハ二十四時をり

第五



森林又
鳥

小なき鳥ハ森



又ハ林ふすむ
鳥の中よハ山
ふそみ又水の

上ふすむも何と

海池 沼 魚 貝

魚ハ海又ハ池にそむものあ

り川又ハ沼ふそむものあり
貝もまた海池沼又ハ川ふす
む

草葉根生ど

草の根ハ土の中ふ生じ葉ハ
土の上ふ生ず

草の葉の根をりやしあむを
うけて生ぞ

父母兄弟

父母の大せはふまげし
兄弟のむつまぢくまづ

第六

米 麥 田 畠



畠よの水なし

米の田ふつく
り麥の畠ふつ
くる
田よの水あり

雨 風 降る 吹く

雨つよく降れば川も水ます
風つよく吹けば海もなみた
つ

朝 夕 早く働く 寝る

朝は早く起きて働く
夕は早く寝る

夕は早く寝るをよしとす

夏 冬 暑さ 寒さ

夏は日てりて暑さつよく
冬は風吹きて寒さはよし

第七

晝 夜 長ク 短シ

夏ノ晝ハ長クシテ夜ハ短シ
 冬ノ晝ハ短クシテ夜ハ長シ
 春秋暖涼易シ
 春ハ暖ニシテ夏ノギ易シ
 秋ハ涼シクシテクラシ易シ
 手足汲ム洗フ



水ヲ汲ミテ手足ヲ洗フ

手足ハツ
 ネニキレ
 イニスベ
 シ

目口物

食フ

目ニテ物ヲ見ル口ニテ物ヲ食フ

食物ハスゴスベカラズ

第八

家所住居常

家ハ人ノ住居スル所ナリ

人ノ住居スル所ハ常ニキレ
イニスベシ

前後庭門之

家ノ前ニ門アリ家ノ後ニ庭
アリ

庭ニ遊ブ時ハ之ヲアラスベ

カラズ

花音耳聞ク

山吹ノ花ヲ見テ夕ノシム

耳ニテ物ノ音ヲ聞ク

窓戸開ク閉ル

門ノ戸ヲ開ク窓ノ戸ヲ閉ル

朝ハ戸ヲ開キ夜ハ戸ヲ閉ル

第九

枝折ル掘ル

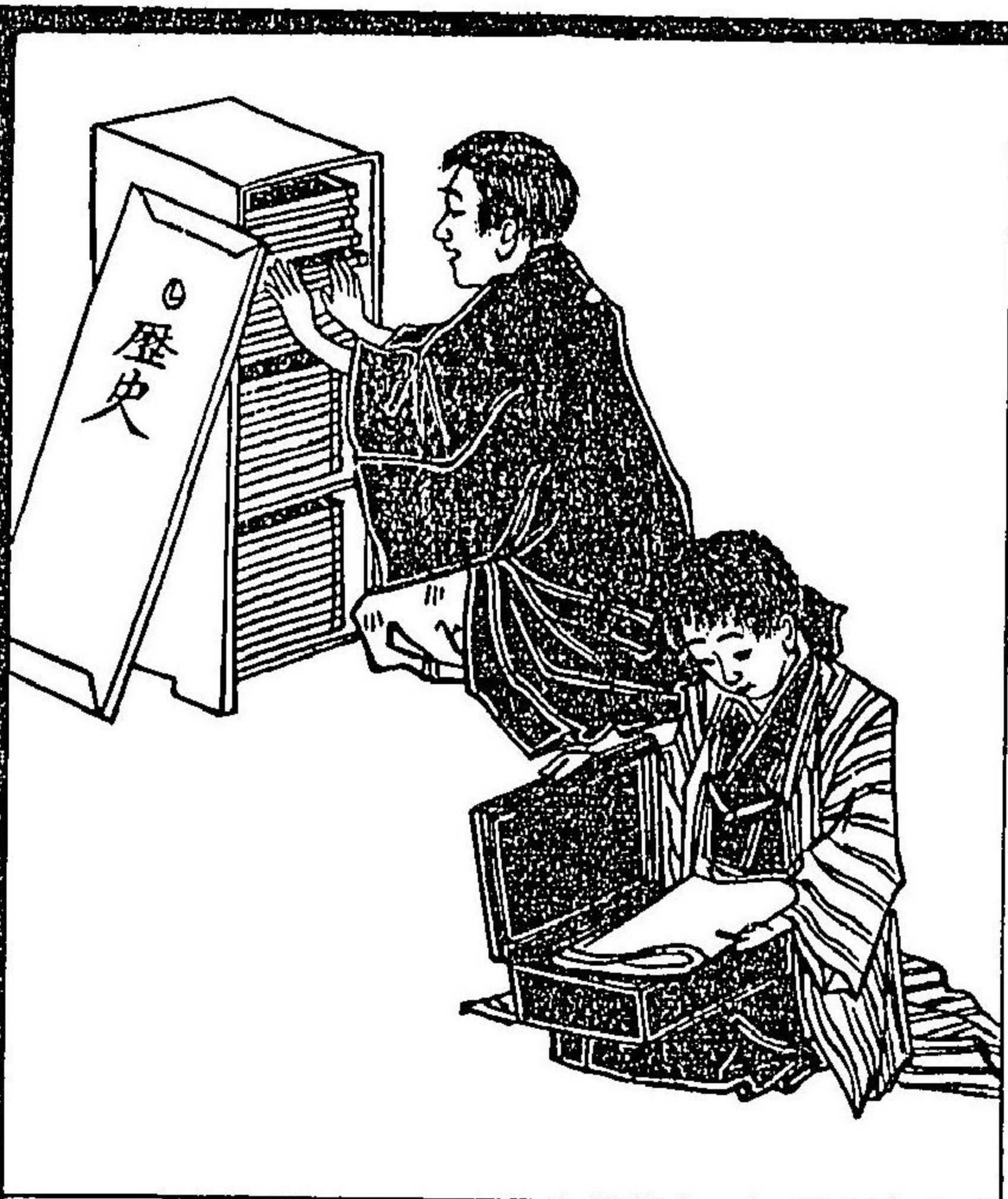
木ノ枝ハミダリニ折ルベカ

ラズ

木ノ根モミダリニ掘ルベカ

ラズ

箱本紙 出ス 入ル



紙ヲ箱ノ中ヨ
リ出ス
本ヲ箱ノ中ニ
入ル

砂糖 生薑味 甘シ 辛シ

砂糖ノ味ハ甘シ 生薑ノ味ハ
辛シ

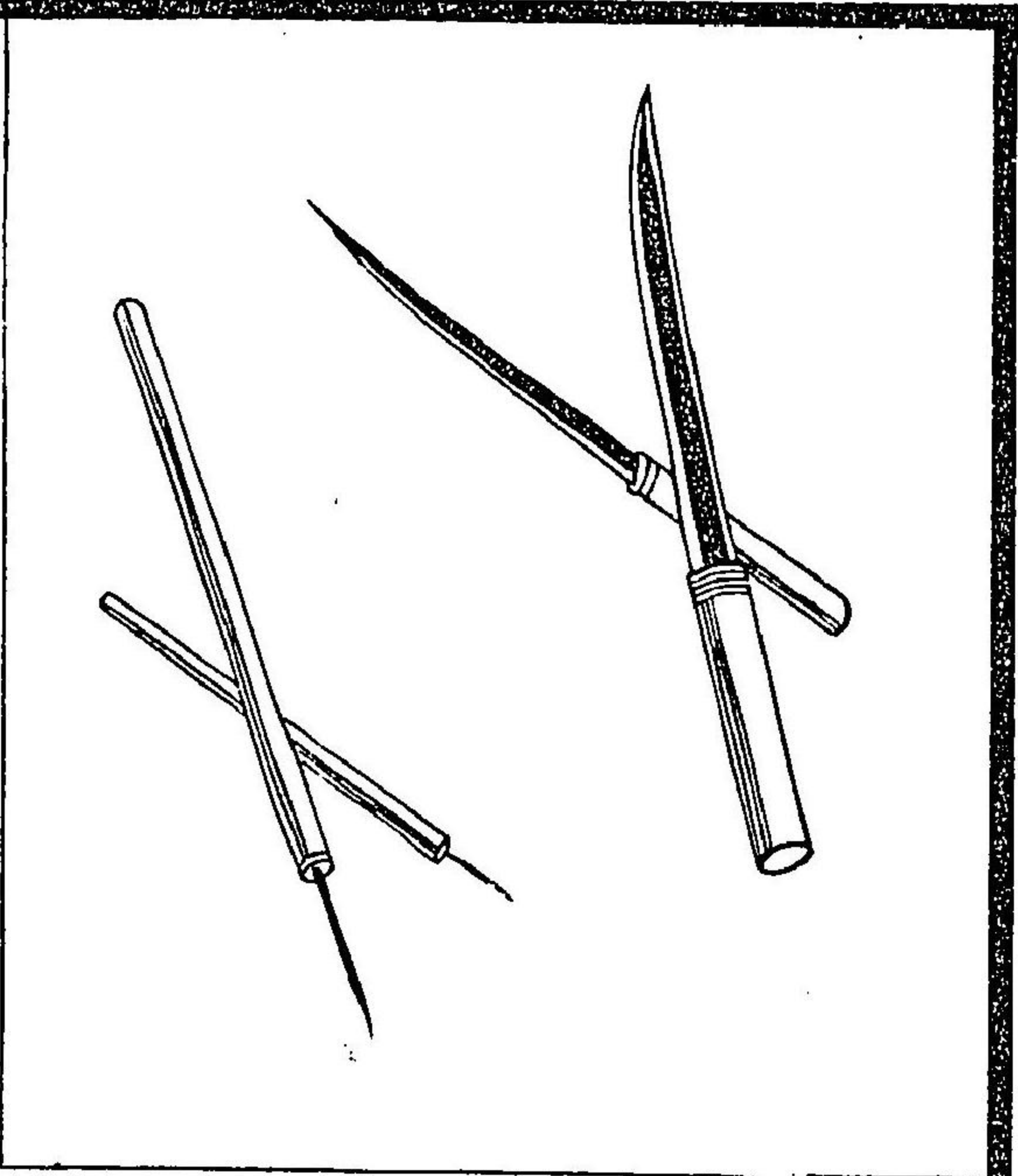
砂糖ツケノ生薑ハ甘クシテ
辛シ

釣瓶 土瓶 湯沸ク

釣瓶ニテ水ヲ汲ミ土瓶ニテ
 湯ヲ沸カス
 釣瓶ハ木ニテツクリ土瓶ハ
 土ニテツクル

第十

小刀 錐穴 切ル 用ウ



小刀ハ物ヲ切
 ルニ用キ
 錐ハ穴ヲアク
 ルニ用ウ

硯 墨 筆 字 書ク

硯ニテ墨ヲスリ筆ニテ字ヲ

書ク

硯モ筆モ大切ニスベシ

柿 李 其色 赤シ 青シ

柿ノ色ハ赤クシテ其味甘シ

李ノ色ハ青キモノアリ赤キ

モノアリ

炭 薪 多シ 少シ

久シ 速シ

炭ハ少シニテ火ヲ夕モツコ

ト久シ

薪ハカサ多キモノユルコト

速シ

第十一

市場店品置ク賣ル買フ

市場ハ人ノアツマリテ物ヲ

賣買スル所ナリ

店ハ品物ヲタク

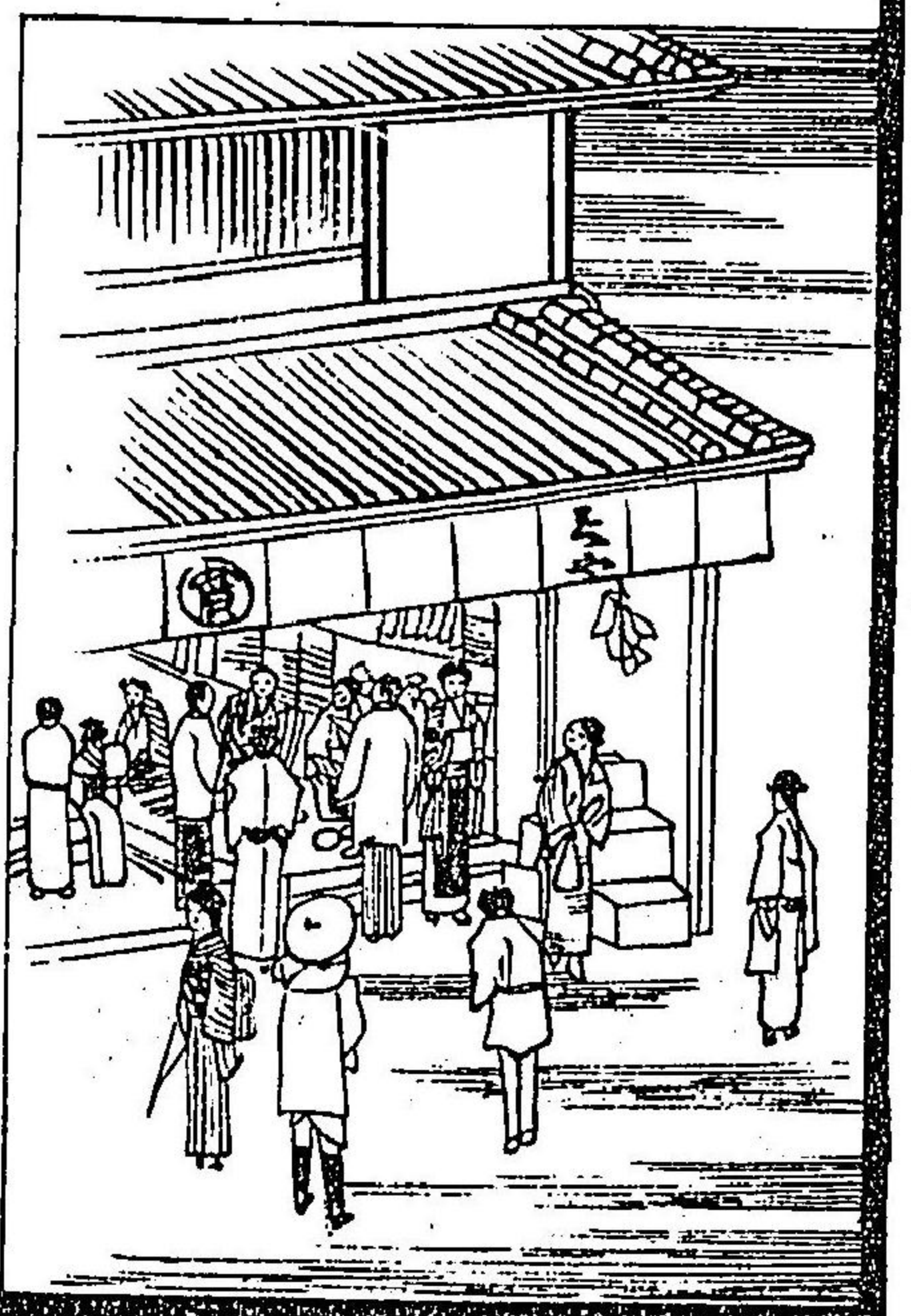
ハへ置キテ賣ル



所ナリ又品物

ヲ買フタメノ

店モアリ



釘針 火箸 鐵 銅 作ル

釘針ハ鐵ニテ作りタルモノ

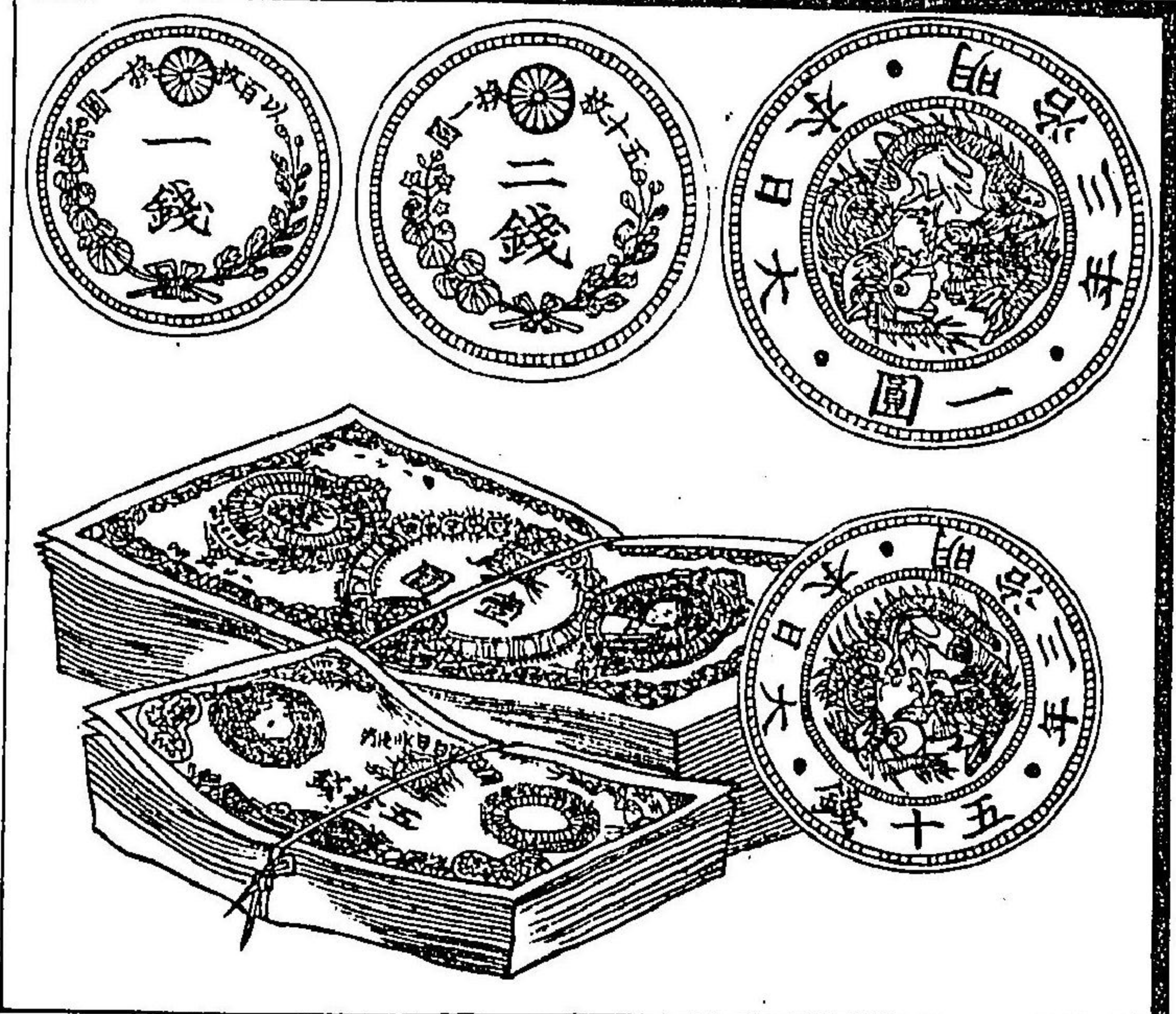
ナリ

火箸ハ鐵ニテ作りタルモノ
 アリ又銅ニテ作りタルモノ
 アリ

金銀銅貨幣同ジ通用



貨幣ニ金貨幣
 銀貨幣銅貨幣



ノ別アリ
 又貨幣ト同ジ
 ク通用スルモ
 ノヲ紙幣トイ
 フ

柱
 疊
 床
 板
 汚ス

家ニ柱アリ床アリ床ハ板ヲ
 シキ其上ニ疊ヲシク
 柱モ疊モキズツクルコトナ
 カレ汚スコトナカレ

第十二

雞 牡 牝 卵 曉

夜 産ム

牡雞ハ曉ニ鳴キテ夜ノアク
 ルヲツグ
 牝雞ハ多ク卵ヲ産ム

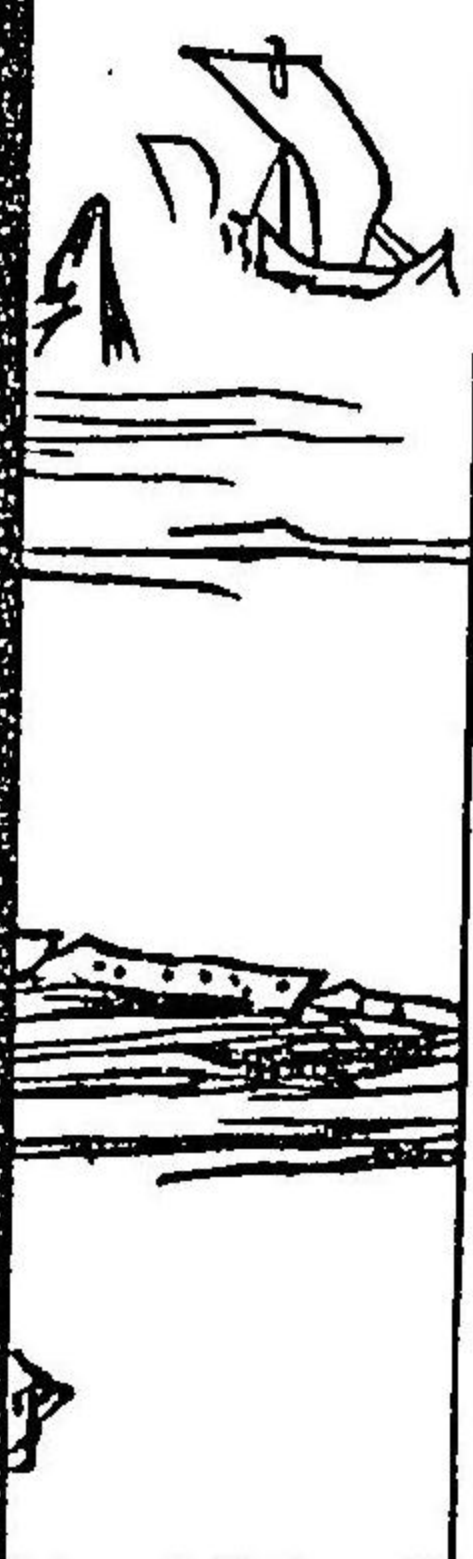
道路 往來 都府車 甚
 道路ハ人ノ往來スル所ナリ

都府ニアリテハ車ノ往來モ
甚多シ

船陸荷物運送

便利

船ハ水ノ上ニウカビ車ハ陸
ノ上ヲヒク



船車ハ荷物ヲ
運送スルニ便
利ナルモノナ
リ

猫毛黑白瞳子
細ク圓シ

猫ノ毛ハ黑白マダラナルモ
ノ多シ

其目ノ瞳子ハ晝ハ細クシテ
夜ハ圓シ

第十三

鋏 庖刀 刃 砥 磨グ 別

鋏 庖刀 ナドノ 刃ヲ 磨グニハ

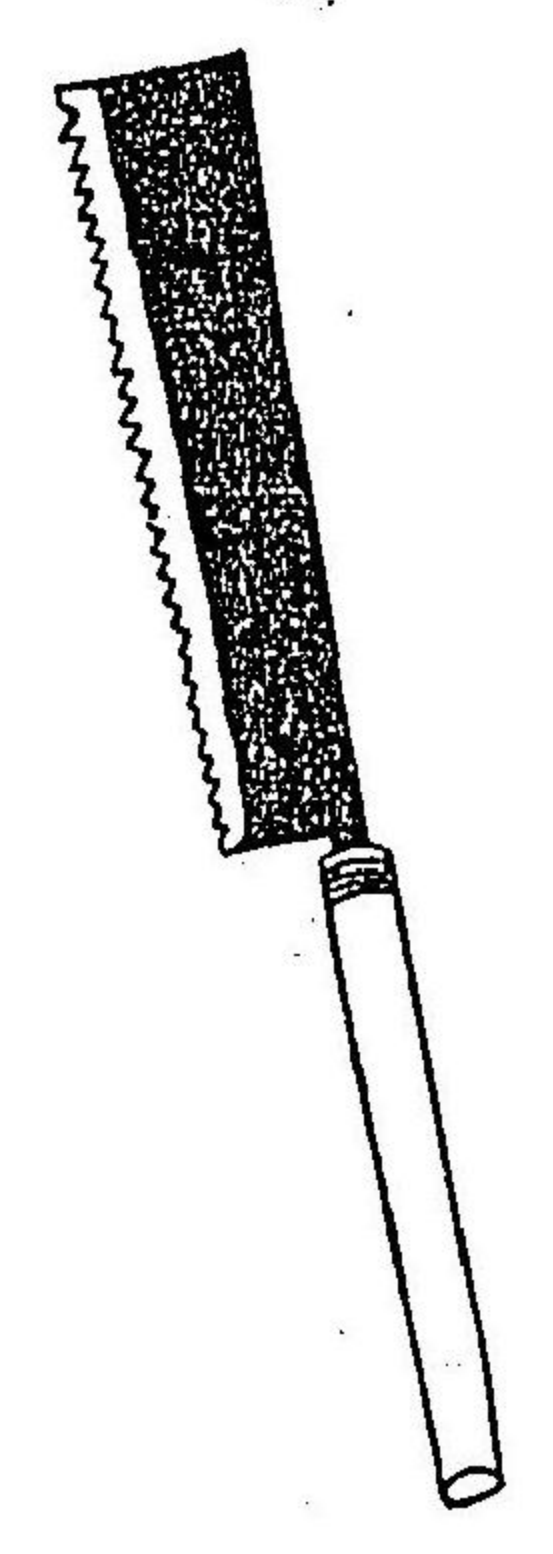
砥ヲ 用ウ

砥ニ 青砥 白砥 ナドノ 別アリ

竹 鋸 鑢 道具 類

鋸ハ 竹木ノ 類

ヲ 切ルニ 用ウ



ハ 品 類 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

ル道具ナリ

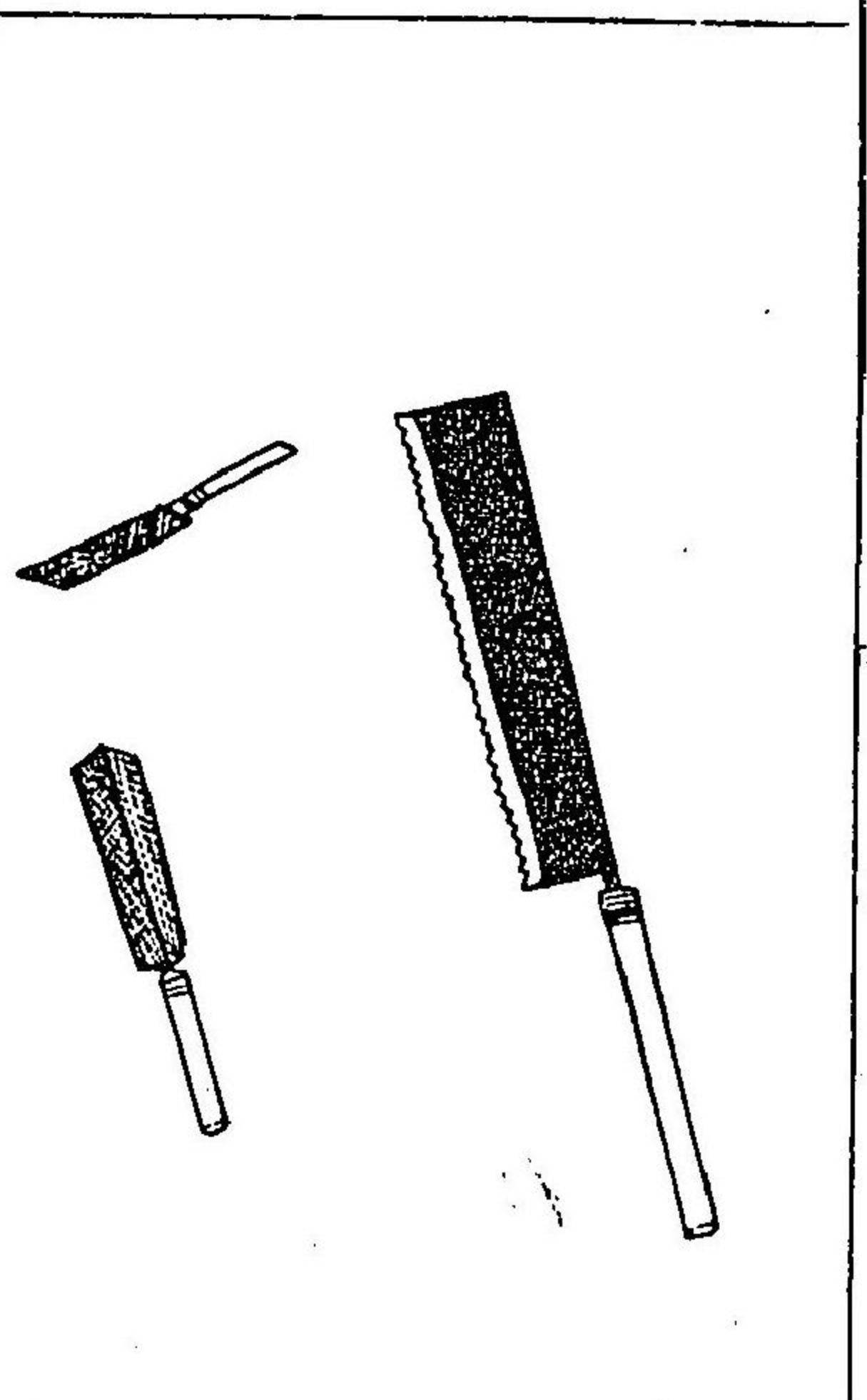
鋸ノ刃ハ鑢ヲ

以テ磨グ

浴衣 湯 單物 袷

著ル綿入

浴衣ハ湯上リニ著ルモノナリ



リ單物ハ夏著ルモノナリ
袷綿入ハ寒キ時ニ著ルモノ
ナリ

足袋 股引 紺 染ム

羽織 脊 紋

足袋ハ白足袋ヲ常トス又紺

足袋ヲ用ウル者アリ
 股引ハ紺色ニ染メタルヲ常
 トス羽織ハ脊ニ紋ヲ附クル
 ナド好ニヨリテ色々アリ

第十四

鍋釜 烹ル飯 柄杓

取ル 移ス

鍋ハ物ヲ烹ルニ用キ釜ハ飯
 ヲタキ又ハ湯ヲ沸スニ用ウ
 桶ノ水ハ柄杓ニテ汲ミ取り
 之ヲ鍋又ハ釜ニ移ス

空 晴 曇 雲 虹

滴 映ズ云フ

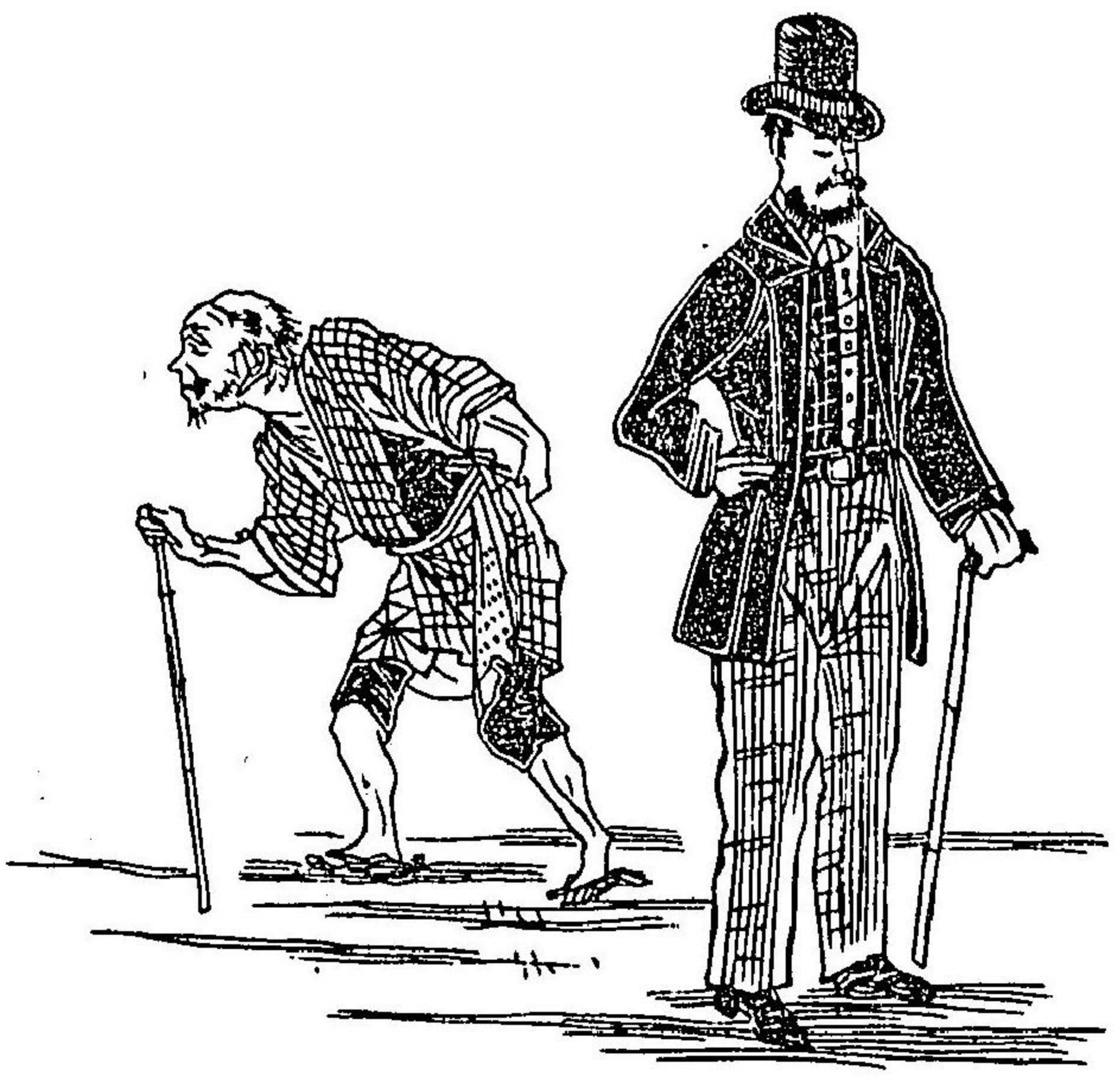
空ニ雲カ、リタル時ヲ曇天

ト云ヒ雲ナキ時ヲ晴天ト云

フ

虹ハ日光ノ雨滴ニ映ジタル

モノナリ



貴キ 賤キ 怠ル者 唯

働ク人ハ貴キ

者トナリ怠ル

人ハ賤キ者ト

ナル

スベテ人ノ貴

キト賤キトハ唯働クト怠ル
トニ在リ

心善 惡 我身

福 務ム

心惡シキ者ハ人ニキラハル
人ニキラハルハ我身ノ禍

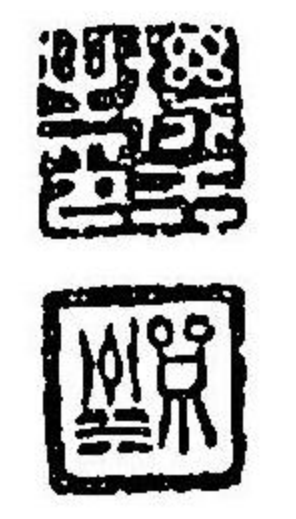
ナリ

都テワザハヒノ本ハ我心ノ
惡シキニアリ

人タルモノハ善キ事ヲ務ム
ベシ心ノ善キハ福ノ本ナリ

小學讀本卷一終

鼎洲原機書



明治十九年二月二十日出版
同二十年四月廿日校正御届

定價金七錢

編纂 大分縣士族 竹下權次郎

出版 東京府士族 中島精

東京銀座三丁目 中近堂本店

名古屋本町三丁目 中近堂支店

發兌

